
昭和こじょう会便り

41号

2005年9月号



(土鈴絵付け)



(手作り陶器販売)

鶴舞公園での区民祭り

発行 : 名古屋高年大学鯨城学園～昭和鯨城会

4 1号発行にあたって

昭和鯉城会会長 (17期) 辻 慶明

名古屋の夏をより暑くした万博も、予想以上の盛況で終焉を迎えようとしています。皆様にはお変わりもなく、お元気でお過ごしでしょうか。昭和こじょう会便り41号をお届けします。

7月から9月に掛けての行事は7月は「竜泉寺参拝とアサヒビール」、8月は区協賛団体として、「区民まつり」、「福祉まつり」において、土鈴絵付けと販売を行いました。その節は陶器や手芸品等の提供を頂き、多くの方の協力を得て大成功することが出来ました。誠に有難うございました。

9月は「昭和区散策」として御器所台を回りますし、10月は「第3回趣味の作品展」、11月「トヨタ博物館」、12月は「NHK放送局見学」等の行事を企画しております。多くの方のご参加をお待ちします。

又本年よりボランティア委員会を立ち上げ色々と検討していただいた結果“余り負担にならず、出来るものからやっつけていこう”という事になりましたので、お声を掛けますからご参加の程お願いします(第10ページご参照下さい)。

役員一同、今後とも昭和鯉城会の発展のため鋭意努力してまいりますので、皆様のご協力をお願いします。 以上

目次

| | | | |
|-----|--------------|----|--------------------|
| 表紙 | 区民祭り (写真) | 10 | ボランティア活動のお願い |
| P 2 | 41号発行にあたって | 11 | クラブ便り リズム体操 |
| 3 | 活動結果報告 | 12 | ・グラウンドゴルフ |
| 4 | 活動レポート | 13 | ニュース |
| | ・竜泉寺とアサヒビール | 14 | 俳句・短歌 |
| 5 | ・区民まつり・福祉まつり | 15 | 自由寄稿 |
| 6 | これからの活動計画 | | ・ブルガリア・バラ祭り |
| 7 | 生き生き熟年 | 18 | ・ごきそについて |
| 8 | クラブのOB会ご紹介 | 19 | ・愛・地球博ステージに 立って |
| | ・白川ハーモニッククラブ | 20 | ・志賀高原を訪ねて |
| 9 | ・重文友の会の活動 | | 編集後記 |

活動結果報告

<平成17年7月より9月の主な活動>

* 会議

- 7月 4日(月) 鯉城会幹事会(可児島副会長)
- 7月 7日(木) 7月度役員会
- 7月12日(火) 区民まつり実行委員会(会長、後藤副会長)
- 7月30日(土) 福祉まつり実行委員会(佐々副会長)
- 8月 5日(金) 8月度役員会
- 8月 8日(月) 鯉城会幹事会(可児島副会長)
- 8月25日(木) 鯉城会代議委員会(会長、佐々副会長)
- 9月 1日(木) 9月度役員会

* 行事

- 7月22日(金) 竜泉寺参拝とアサヒビール見学会
- 8月 5日(金) 寄贈品(陶芸品)値段付け作業 (ライトハウス)
- 8月 6日(土) 区民まつり (鶴舞公園)
- 8月21日(日) 福祉まつり (区役所)

* その他

9月15日(木) 『昭和こじょう会便り』41号製本、配布

* “寄贈品(陶器・たわし)” ご提供有難うございました

区民まつり、福祉まつりの折、以下の方々から貴重な作品をご提供いただきました。皆様ご協力有難うございました。

| | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 廣江昭三(5期) | 山本保人(8期) | 松本正夫(12期) |
| 大沢花子(13期) | 林喜久代(13期) | 荒川巖(16期) |
| 小川幾敏(17期) | 船橋正子(17期) | (敬称略) |

* 収益金を寄付しました

区民まつり、福祉まつりでのチャリティ販売の収益金を社会福祉協議会とライトハウス殿へ寄付致しました。これに対し社会福祉協議会浅井会長より礼状が、またライトハウス所長より感謝の言葉を頂きました。以上ご報告いたします。

「竜泉寺とアサヒビール」

17期 (環境) 石橋 政雄

連日30度を越す炎天下の中、竜泉寺へ登るだらだら坂は鯨城会メンバーにとって少々きつかったようだ。それでも展望台に上がった26名は皆百万ドルの景観に思わず息を呑んだ。

真下に庄内川をひかえ、その向こうに広がる濃尾平野、その先の小牧山まで一望出来しばし汗を拭くのも忘れるほどであった。

寺の境内に城があるのにも驚いた。聞けば小牧長久手の戦の折、秀吉が当山に陣を敷いたと云う。蜘蛛の巣を払い城内に入ると宝物が展示されていたが、目玉の円空一刀彫の“馬頭観音像”は名古屋市博物館にお出まし中であった。代わりに同じ円空の千体佛が代役を務めていた。

“吹き上ぐる 庄内川の 風涼し”

お寺とビール会社とは妙な取り合わせであるが、ともあれ我々は次の目的地アサヒビールに向かった。暑い中をとぼとぼと歩いて行くとやっとビール会社のタンク群が見え、さすがにその時はほっとした。

タンクの数は一六〇本もあるとか――

名古屋ドームの1.3倍の広さのある工場内を45分かけて見学した。

機械自動化の説明もさることながら、“ノンフロン化”“二酸化炭素の排出抑制”“省エネ”“再資源化”等々、会社の環境保全への取り組みに注力した説明には感銘を受けた。

最後に試飲室で参加者全員待ちに待った乾杯を上げた時は、この上ない幸せを感じました。

幹事の皆様、本当に有難うございました。

“天空に 聳ゆビールの タンク群”



「区民まつり・福祉まつり」へ参加して

18 期園芸 吉田 一郎

①区民まつり

去る8月6日(土)残暑厳しい中、昨年に引き続き昭和鯉城会は協賛団体として会員多数が鶴舞公園の会場へモリゾーとキッコロのTシャツを着用して参加した。今年は昨年と違い午後4時から8時半までの夕方から夜にかけてのお祭りとなった。

この準備として午後2時前から会場へ集まり、予てこの日のために用意していた沢山の土鈴(会員有志が延べ3日にわたり一生懸命工夫した手作りの傑作ばかり)と会員有志から寄贈戴いた手作りの陶芸品(正に貴重な芸術作品)を9個の長テーブルに見栄えよく展示、陳列し多数のお客さんの来場を待ち望んだ。

初めは来場するファミリー、特に子供たちに如何にして土鈴の衝動買いを誘うかと考えたが、当ブースの前面道路を流れてゆく子供たちの視線が土鈴に向けられるやタイミングを合わせて、土鈴の姿、鈴の音、色彩(見本に色つけした作品の)などについてあれこれ説明しながら興味を持ってもらい結果として予想外の多数のファミリーやお子さんにお買い上げ願うことが出来た。そのため絵付け用のテーブルの席が不足するほどの活況を呈した。我々お手伝いの会員は幾度も交代するお子さんたちの絵付け道具や席の入れ替え準備にてんてこ舞いであった。また高年大学の陶芸学科や陶芸クラブなど卒業生の手作り芸術作品の販売も値段が格安であったこともあり、飛ぶように売れて、残りの商品が寂しく涼しくなってしまった。そのため我々は椅子に坐る暇もなく大忙しで、お祭りの4時間半があつと言う間に過ぎて足腰の疲れは会場を片つける頃になって気付くほどであった。

②福祉まつり

おまつりは8月21日(日)区役所で午前10時から15時30分までであったがこの準備のため前日の昼12時に集まり、机椅子などの運搬、設営に当たった。おまつり当日は朝8時半に集合し、区民まつりの時と同じようにテーブルの上には陶芸作品や土鈴や絵の具などを並べて千客万来を願った。昨年と違って今年は天候にも恵まれ人出も上々で、また毎年の定位置での出店のせいか顔なじみさんも増えて「今年も来たよ」と声を掛けてくださる方もあり、区民まつり同様陶器、土鈴共に売れ行き好調でした。お陰で来年まで持ち越す在庫品は少なく、保管場所の苦労はないものの、来年は陶芸品も土鈴も準備が大変と思われる。何はともあれ今年区民まつり、福祉まつり共に会員、非会員を問わず本当に多数ご来場賜りお陰で想定外の売り上げを計上できたことに厚くお礼申し上げます。また役員共々一般会員の方も多数お手伝いに来ていただき本当に有難うございました。

感謝

これからの活動計画

9月から12月までの行事予定をお知らせします。
詳細も決まっておりますので、下記の情報とチラシをご覧の上、ぜひご参加下さい。参加はいずれも自由です。

* 昭和区散策 {御器所台} 9月22日(木) *

地下鉄荒畑駅改札口9時30分集合し、昭和区案内人つきで『荒畑より御器所』にかけて約2時間の散策をします。

* 第3回昭和饒城会作品展 10月14日より16日まで*

本年も昨年に引続き、第3回作品展を10月14日(金)より3日間、昨年と同じ場所の“ふれあいポケット御器所ギャラリー”で行います。この作品展は絵画・書・陶芸・写真・刺繍など会員有志の趣味の作品を持ち寄り展示するものです。会員の皆様、是非ご覧下さい。詳細は同封のチラシをご覧下さい。

* トヨタ博物館見学会 11月24日(木)*

11月24日(木)長久手のトヨタ博物館にて自動車の歴史を学びます。平成元年オープンで120台の車両が体系的に展示されています。詳細は同封のチラシをご覧下さい。

* NHK放送局見学会 12月16日(金)*

12月16日(金) 栄町“オアシス21”そばのNHK放送局を見学します。11時よりガイドツアーがあり約1時間の予定です。この後忘年会を開きますので、必ずチラシをご覧下さい。

* 忘年会 12月16日(金)*

上記NHK放送局見学会終了後 13時よりNHK地下街の「さかなや」にて会員相互の親睦と1年間のご健在を自ら褒めてあげようではありませんか? 勿論忘年会のみの参加も大歓迎です。ただし忘年会のみの方は世話人へ前日までにご連絡下さい。参加費2500円予定

お元気な会員の近況をご紹介します。

- ①楽しみや生き甲斐について (生活、趣味など)
- ②健康について (何かしていること)
- ③読者の方に一言

1 2期生活学科卒 河原 美智雄さん (川原学区) 書道研究クラブ (大正15年生まれ)

- ① 私の趣味はゴルフ、書道、篆刻、パソコン等等ですが、ゴルフは月2-3回 コースを廻りますが、スコアーよりも1コース歩くと1万4000歩程度となり私の健康のバロメーターにしています。また書道は鯉城学園で月2回の研修をしています。私が卒業以来代表をさせて頂き、手本の準備、部屋の予約など結構多忙な日々を送っています。
- ② 上記のゴルフのほかに週1回のリズム体操に出来る限り出席するようにしています。そのほかには家内が足が悪いので庭の掃除、雑巾がけなどは自分の健康のためと思ってやっています。
また食事は嫌いなものはなく、甘辛二刀流で晩酌に缶ビールを飲んでいきます。
- ③ 頭の体操にはパソコンが良いと思います。
私が勉強しているのは下記ですので若し勉強したい方はお問い合わせ下さい。

昭和区高峰町133-24

電話番号090-4403-3298 河島 正幸 さん

研修場所 八事、伊勝コミュニティセンター

目的 高齢者のためのパソコン教室



クラブのOB会ご紹介

白川ハーモニック

15期生活 A 大河内 五郎

鯉城学園コーラス部のOBで結成している男女混声合唱団で、本年18期の方も数名迎え総勢110名の団員となりました。昭和区からも7名参加しております。唐の詩人杜甫が人生七十年古来稀なりと詠んだそうですがなにしろ鯉城学園のOBですから平均年齢はかなりのものですが、古来稀どころか何時までも若々しい歌声と、一段とレベルの高い合唱団を目指して楽しく練習に励んでおります。

各種の文化事業のイベントに要請を受けて賛助出演したり、一方では小グループに分かれてデイサービスセンターなどの介護施設とか小学校のトワイライトスクールなどにおいて慰問演奏を催したり合唱を通して地域社会への貢献ができることをモットーにしております。

本年は6月に市文化振興事業団の要請で金山の音楽プラザでサロンコンサートを開催しました。昨年後半に大きな舞台としては明治村の芸能芸術祭 生き生き長寿フェアアフタヌーンコンサートに招かれて賛助出演いたしました。これらのイベントに参加することは団員の励みになり益々元気よく活力溢れる合唱となってくることは間違いありません。今年は年末にかけて介護施設、小学校のトワイライトスクールに4-5回の慰問公演を予定しております。

学園時代から引き続き 柴田 和子先生、水野 佳子先生にご指導願っておりますが私共のグループを皆様に聴いていただき、そこそこの評価をしていただける合唱団に育ててくださったご努力に深く感謝しております。更なる飛躍を目指して励みたいと思っております。

以上

(筆者は白川ハーモニック 副会長です)



慰問施設での熱演風景

「重文友の会」の活動

重文友の会会員

16期 地域学科 境野 紘

来年平成 18 年は私達の母校鯉城学園の創設 20 周年の記念の年ですが、「重文友の会」は、学園創立の年の昭和 61 年に早くも活動を開始した「重要文化財研究クラブ」の O/B 会です。

学園学生会会報「こじょう」創刊号（昭和 61 年 12 月号）の中で私達の先輩は「重要文化財研究クラブ」発足の動機として、“先人の文化遺産の鑑賞と将来への伝達こそ現代人の崇高な義務である”と述べています。O/B 会「重文友の会」は、学園のクラブ創建時のこの精神を引継ぎ、4 期から 18 期迄の、多士済済の会員総数約 180 名で、元気に活躍しています。

私達の活動の中心は、学園時代同様、主にお寺の拝観ですが、会員はこの拝観を、建造物や美術品としての鑑賞の為、あるいは宗教的な意味の参拝の為、真剣に、且つ敬虔に行っています。

私達の年間の行事は前年中に具体的に役員会で企画され、総会で決められますが、日帰りの参拝バス旅行を毎年 3 回、概ね 5 月、9 月、11 月に実行しています。行先は様々ですが、大体が東海、関西方面です。前述しましたように訪ねる先は寺院が主ですが、所謂観光寺は敢えて避け、静かな佇まいで、歴史があり、文化財に富み、侘び、寂びの魅力が豊富な拝観先を選ぶようにしています。寺院に拘らず、城や建物でお寺以外の重要文化財が訪問先になることもあります。

文化財保護法第 1 条（この法律の目的）は：－

「この法律は、文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もつて国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的とする」

とうたっていますが、色々なお寺やその他文化財として貴重な場所を巡って思う事は、京都や奈良等の観光の対象として有名なお寺以外の、あまり世間に知られていない、しかし文化財として貴重なお寺等の建造物の多くが、必ずしも適切に維持、管理されておらず、荒廃が危惧される事です。

これには、文化財保護の為の国の支援の問題、お寺の自覚の問題、あるいはお寺と地域との関係の問題等色々な事情があるとは思いますが、所詮は私達国民の歴史的な文化財への意識、更には宗教的意識の程度と非常に関係があると思います。（次ページへつづく）

滋賀県のあるお寺の住職さんから聞いた話です。
このお寺の本堂は国宝で、周囲を杉の大木に囲まれ、素晴らしい佇まいですが、
国の文化庁は本堂が台風等で被害を受けないよう、杉の大木を切り払えと言ひ、
環境庁は素晴らしい環境を守る為、杉は保存すべきと言ったそうです。この話
の結論は知りません。

以上

編集委員よりのお願い

今後当分の間 この「クラブの OB 会ご紹介」をシリーズとして掲載いたし
ますので会員の皆様のクラブの活動状況など是非ご投稿下さい。お待ちしております。
ります。

謹告

昭和鯨城会としてのボランティア活動についてご協力をお願い

会員皆様方は既に各々鯨城学園のボランティア精神に則り多方面にわたり積極
的にボランティア活動に貢献しておられることは重々承知しておりますが会と
しての活動は現在の所残念ながら区民祭り、福祉祭りにおけるチャリティの売
上金を毎年寄付している程度となっています。これも勿論大事な事ではありま
すが更に活動の複数化、重層化を図るべく役員会を中心に協議検討の結果次の
如く決定しました。

即ち活動内容、種類はいろいろ考えられるが会員の自由を束縛せず、余裕の
時間に参加でき、かつ極力大勢の会員に協力お願いできる事から始めようとの
考えから 「雑巾、タオルを会員より提供いただき、昭和生涯学習センター、福祉会
館、各地区コミュニティセンターなど昭和区内の主に公共施設などに寄贈する」と
いうことに致したく。

については第一回として各会員は本年12月初めまでに1-2枚の新タオル又は新
雑巾をご準備願ひ、担当ブロック委員が12月中旬に回収に廻りますので宜しく
ご協力のほどお願いいたします。

なお引き続き別の種類の活動として折り紙教室とかシテイマラソンのお手伝
いなど準備検討中につき具体化次第ご報告させていただきます。

2005年9月

昭和鯨城会 役員一同

昭和絨城リズム体操クラブニュース

近況報告

代表 近藤 勇雄 (14期)

リズム体操クラブの運営は相変わらず順調です。本年4月から創立4年目に入りました。2月の体操発表会で会長賞を受賞して以来、会員の皆さんが自信をもたれたのか最近では出席者90人を超える日が多く、控え室やフロアは満員という盛況です。発表会の前は緊張した練習でしたが、この頃はすっかりリラックスして楽しんで体操をしております。7月27日には西川、大塚両先生にも出席していただいて「浩養園」でビールパーティを行いました。飲み放題、食べ放題の企画で参加者90名で盛会でした。

なお平成17年度下期の練習日程が決まりましたのでご案内します。いずれも水曜日午後1時15分から午後2時45分までです。

平成17年度後期 日程表

| | | | | | |
|-----|------|-----|-----|------|-----|
| 10月 | 5日 | 12日 | 19日 | 26日 | |
| 11月 | 2日 | 9日 | 16日 | (休み) | 30日 |
| 12月 | 7日 | 14日 | 21日 | (休み) | |
| 1月 | (休み) | 11日 | 18日 | 25日 | |
| 2月 | 1日 | 8日 | 15日 | 22日 | |
| 3月 | 1日 | 8日 | 15日 | 22日 | 29日 |

以上



グラウンドゴルフクラブニュース

平成 17 年度前期の競技状況と成績の報告

報告者 17期文化 B 永田 祐千

前期は 4 月 5 日からスタートし、8 月 2 日に終了しました。天候に恵まれて競技日 8 日、練習日 7 日を開催することが出来ました。

後期は 9 月 6 日（毎週火曜日開催）からスタートしました。

競技は簡単です。手ぶらで 10 時までにコートに来ていただければ即気軽に始められます。是非ご参加ください。ただし競技日の第 1、第 3 火曜日に参加の際は 1 回当たり 100 円の会費をお願いいたしております。

前期競技日のベストスコアー

| 競技日 | 氏名 | スコアー | HI 数 | 競技日 | 氏名 | スコアー | HI 数 |
|----------|-------|------|------|----------|-------|------|------|
| 4 月 5 日 | 春日井正幸 | 4 2 | 0 | 6 月 21 日 | 春日井正幸 | 3 4 | 1 |
| 4 月 19 日 | 佐治 正夫 | 3 9 | 1 | 7 月 5 日 | 桜井 静 | 3 7 | 2 |
| 5 月 17 日 | 田中美代子 | 3 6 | 2 | 7 月 19 日 | 光崎 俊男 | 4 1 | 0 |
| 6 月 7 日 | 光崎 俊男 | 3 1 | 2 | 8 月 2 日 | 春日井正幸 | 4 0 | 1 |

(HI 数 ; ホールインワン数)

(同スコアーの場合は年齢上位者をベストとした)

お知らせ

名東鯨友会との定期親睦競技大会の日程などが決まりました。

期日： 平成 17 年 11 月 3 日（木） 9 時 30 分集合

場所： 鶴舞小学校グラウンド

詳細は本誌の折込チラシをご参照下さい。

今年は当会が担当ですから多数ご参加いただきますようお願いいたしております。

ご不明な点などは下記世話人までご連絡下さい。

世話人 吉村 卓次 Tel831-9712

滝本 一男 Tel881-3777

渡辺 忠 731-8051

永田 祐千 871-9537

ニュース

*鯨城会と鯨城学園ニュース

①学園の恒例行事

- 9月28日(水) 運動会 千種スポーツセンター
10月17日(月) - 21日(金) 修学旅行
11月18日(金)、19日(土) 文化祭

②公開講座 (10時-11時30分、鯨城ホール)

- 10月14日(金)「ガンと共に10余年」国際自然医学会員 佐藤舜哉氏
11月30日(水)「こんなコトバ知っていますか」椋山女学園 加藤主税氏
2月17日(金) (演題、講師共に未定)

③鯨城会第8回公開講演会

- 12月8日(木) 講師 皇學館大學 深草先生 鯨城ホール

④学園20周年記念関連

- 18年3月 9日(木) 鯨城会主催記念式典 鯨城ホール
3月28日(火) 学園主催記念式典 名古屋市民会館大ホール

⑤11月8日 名古屋市一斉清掃ボランティア活動に参加しましょう

安心、安全で快適なまちづくりキャンペーン2005 に協賛

鯨城会では名古屋市主催の「安心、安全で快適なまちづくりキャンペーン2005」に協賛して11月8日(火)午前(時間、集合場所未定)会員が清掃ボランティアに参加することとなりました。現役学生にも参加を呼びかけており合計約300名の動員を予定しております。鯨城学園20周年記念事業の一つでもあり昭和鯨城会より15名以上の多数ご参加を是非お願いします。なお当初10月25日予定より変更となりました。

⑥各区 OB 会作品展にも出掛けましょう。開催日順にお知らせします。

| | | | |
|-----|--------|--------------|----------------|
| 天白区 | 天白鯨城会 | 10月1, 2日 | 天白生涯学習センター |
| 千種区 | 花水木鯨友会 | 10月11-16日 | 黒川駅ギャラリー |
| 守山区 | 守山鯨城会 | 10月16-18日 | アクロス小幡(名鉄小幡駅前) |
| 南区 | こなみ会 | 10月25, 26日 | 南区役所講堂 |
| 中村区 | 中村鯨城会 | 10月25日-11月8日 | 中村生涯学習センター |
| 東区 | 東鯨城会 | 10月26-28日 | 黒川駅ギャラリー |
| 熱田区 | 熱田区会 | 10月29, 30日 | 熱田生涯学習センター |
| 西区 | 西こじょう会 | 11月6-10日 | 黒川駅ギャラリー |
| 名東区 | 名東鯨城会 | 11月予定 | |
| 緑区 | 緑鯨城会 | 12月16, 17日予定 | 緑区役所講堂 |

なお港区は2月、北区は3月、中川区は5月、瑞穂区は8月に終了しました

俳句

四季折々に

粟谷 任

(十七期園芸)

初春や 揺らす乙女のお振袖

海風腸(このわた)を 着に下戸も

年酒酌む

踏みつけし あとに香れる 露のとう

窓開き 春愁の氣 風に乗せ

七変化 変わりはじめの 薄みどり

五体まだ どこか寝たららず 昼寝覚め

来る風の 見えざる秋の 声を聞く

秋深し 字経におろす 白き筆

菖空 黒く飛び去る 寒鴉

潮引いて 鳥の動きや 冬日差し

短歌

自然の中で

木村 恒

(十八期生活A)

新緑の谷間より風の吹き上げて

ツヅラト峠の私をつつむ

黙々と広き庭掃く修行僧

喧騒の集団に何を思うや

散歩道のメダカの泳ぐ水瓶に

雨上がりの空映りて眩し

石ひとつ渚にひろいて帰れども

自然の中が最もふさわし

夕暮れの杉の木立の境内に

ほの明るさや石楠花の花

ブルガリア バラ祭りを訪ねて

15期文化 蓮池 尚子

去る5月30日、10日間の旅程でブルガリア・ルーマニアを旅した。ブルガリアのバラ祭り見学が主な目的である。ブルガリアと言えばヨーグルトとリラの僧院、ルーマニアと言えば体操王国とチャウセスク程度のお粗末な知識しかないのである。

旅はルーマニア、ブカレストから始まる。ラテン民族の国、陽気で

あけっぴろげの民族性と聞いている。首都ブカレストの木々の緑は美しい。が、道路、建物は何となく薄汚れ、寂れた感じである。労働者のアパートが多く、食べることに一生懸命だった日本の昭和25-35年頃に逆戻りしてしまった。庶民の平均月収3万円もうなずける風景である。

一方街の一角には「国民の館」が聳え立ち、素晴らしい道路が走っている。「国民の館」は1984年のレートで5億ドル以上かけ、部屋数2000をこえる超豪華版。故チャウセスクの「野望の館」そのものである。このアンバランスは何なのかと驚いてしまう。



「バルカンのプチパリ」と呼ばれた美しいブカレストもチャウセスクの登場で、街並は一変したのだと思った。革命が癒えつつある街。復興が思うように進まないのが現状といったところであろうか。旅人を誘うのはやはり、所々に残っているルーマニア独自の建造物である。建築家も勉強のため訪れると言う。

教会群の建築遺産は実に豊かである。東方正教会は昔の佇まいを残し、姿形も独特なものだ。祭壇の黄金装飾もたいへん美しい。

市の北部の「農村博物館」は18-19世紀の民家を集めたもので、フォークロアの宝庫といったところである。民族色にあふれた人々の暮らしぶりや、民間伝承を垣間見ることができる。首都を離れ、シナイア僧院・黒の教会・ブラン城（ドラキュラのモデルになった所）・ペレシュ城を見学する。未知のものを見るのは大変楽しい。

窓外には肥沃な農地が広がり、農村はのどかで、人々は幸せそうである。農村の交通手段は馬車（日本の戦前の風景）。自動車も自転車もなく、時折バス停がある。人々は土埃の道をひたすら歩いている。黙々と歩いている。自動車・トラックは都会だけのものらしい。スローライフそのものである。人々は多くを望まない。平均月収3万円なのだと変に納得してしまう。この人たちに、渋谷の人込みを見せたら腰を抜かすにちがいない。

産業は少なく、都会では外国へ出稼ぎに、農村では一家総出で田畑を耕し、懸命に働くルーマニアであった。

5日目ルーマニアからスラブ民族の国ブルガリアへと移動する。国境越えは係員がドカドカとバスに乗り込んで我々をじろりと一瞥。後はパスポート提示で簡単に通過。ベリコ・タルノボ（琴欧州の故郷）へ入る。経済的にはルーマニアより豊かだと直感する。道・建物・人々の衣服、表情がそれを物語る。

ブルガリア王国時代の宮殿跡、ツアレヴェツの丘を見学。石畳の多い要塞の街である。

6日目、いよいよ目的地バラの谷（カザンラク）に到着。農地は一面のバラ畑だ。香水に使われるバラの香料は世界の70%がブルガリア産。5月の収穫期には夜明け前から採集が始まる。民族衣装を身に纏った女性たちが、歌と踊りで豊作を祝う。バラ祭りは丁度この時期開催される。香水用のバラ「ギュル・トレンダヒル」は観賞用よりかなり小さく「ブルガリアの金」といわれている。バラオイルはこの国の誇る主要産業である。

早朝、観光客も一斉にバラ畑に入る。籠一杯に満開のバラを摘む。棘は気にならない。匂いは大変強い。誰かが「シャネルの匂いだ」とつぶやいている。摘み方は土地の少女たちに教わるのだが、民族衣装の美しい少女は引っ張りだこ。何処の国も同じである。

やがて、バラ畑で音楽とフォークダンスが始まる。観光客も思わず踊りだす。楽しい一時である。このバラの花びらがバラオイルやバラジャムを産み、ブルガリアが「バラの国」といわれる所以である。

バラの花びらを土産に頂いて(毎夜、ホテルで乾かすのに苦勞する)、世界遺産トラキア人の墓に向かう。2000年以上も前のものとは思えないほどフレスコ画が美しい。

7日目、ソフィアに次ぐ第2の都市プロブディブに向かう。紀元前19世紀以来の歴史をもつ街は街全体が博物館という感じである。ローマ時代の劇場・競技場跡が歴史を感じさせる。建築家もこの街の独特な二階の出窓を見学に来るとか。プロブディブは民家や街並みの中に色々な文化を混ぜながら独特の佇まいをつくっている。

次は世界遺産バチコヴォ僧院を見学。日曜の荘厳なミサに、観光客が入っても何も言われぬ。まだ観光客が少ないのであろう。僧たちの祈りの声はアカペラの合唱のように美しい。不謹慎にもしばし聞き惚れてしまう。

首都ソフィアは共産党の名残が一掃され着実に歩みだした感がある。

8日目、ボヤナ教会、リラの僧院へ向かう。ソフィアから南へ130kmリラの山間にひっそりと佇む僧院である。彩色の華やかさ、要塞を思わせる堅牢さ、そして宗教的な荘厳さを備えたブルガリア正教の総本山だ。その歴史は10世紀に遡るとか。オスマントルコ圧政時代もここだけはキリスト教信仰が黙認され、残ったらしい。

見応え十分な世界遺産である。

今回の旅はせかせかと時間に追われ、声高に環境問題を叫ばねばならない日本人に比して、ルーマニア・ブルガリアの農村にみる、ゆったりとした時間の流れに驚かされた。何百年も前からこうであったろう家族総出の結束した農村の労働力。貧しいけれど懸命に生きる姿に古き日本を見る思いである。自分の子供時代もこうであったなあと、感じってしまう。この人たちの労働に見合うだけの収入があれば良いのにと願った旅であった。

以上



軒を這ねるような裏通りにも歴史を感じる

(独特な二階の出窓)

“ごきそ”について

17 期文化 B 永田 祐千

来る 9 月 22 日に「昭和区散策 荒畑、御器所周辺」の歩こう会の催事が予定されており、かつて御器所村について調べたいいくつかを纏めてみましたので参考にさせていただければ幸いです。

御器所村とは郷中（ごうなか）御器所、石仏村、川名村、八事村、伊勝村、藤成新田の六か村を一括していた。ここでは郷中御器所について述べたい。

郷中御器所は御器所八幡社を中心に、中屋敷、門屋敷、地藏堂、北市場、亀口、登城街道、東脇、島退の八つの集落からなっており、御器所八郷とも言われていた。標高 10-20 メートルの御器所台地にあり、北は荒畑、東は郡道、南は円上中学、西は空港線を境とした地域である。

御器所は古くは熱田神宮の神領で、神事に用いる土器を調達するために御器所（おんうつわどころ）と名付けられた。御器所という地名が最初に出てくるのは建久元年（1190 年）に源頼朝が一条能保へこの地を下された時の書状である。

◆御器所西城と佐久間氏

御器所には御器所西城、御器所東城の二つの城があったとされる。東城跡地は概ねしか分からないが、西城は現在の尾陽神社（大正 11 年、名古屋開府を記念して創建）である。如何にも城跡の趣が残っている。西城は佐久間美作守家勝の築城とされ、15 世紀半ばと考えられる。家勝は 1449 年御器所八幡社の八所明神を修復したとされる。八幡神社の創建時期は不明だが、氏子は多く現在に至るまでこの地方の精神的な拠り所となっている。

この佐久間氏の祖は安房国佐久間郷を領する三浦氏の一族であり、和田義盛の乱（1213 年）に破れ、さらに承久の乱（1221 年）に破れた後、御器所に定着した。

佐久間一族の主な人々を見てみると、盛重は織田信長の将、子供の盛次も同じく信長の将で柴田勝家の妹を妻とした。龍興寺（曹洞宗中本山の名刹で雪舟の絵など多くの秘蔵のものがあつたが、戦災で消失し、戦後本堂は財界人藤山雷太の旧邸を移築した）を創建、次子信守は信長の知将として一族ではもっとも知られた人、晩年は石山本願寺攻めが長期にわたったとして信長の怒りに触れ追放された。盛政は盛次の長子にて、豪勇無双で柴田勝家の甥にあたり、勝家についたため賤ヶ岳の合戦に敗れる。勝之は盛次の四子、関が原合戦に功あり信州に 1 万 8 千石を領した。現存の熱田神宮大石灯籠の寄進でも有名である。この一族は江戸期まで旗本として残った者もあつたが今では継承者は見つからない。

◆豊臣秀吉の生誕地は御器所

御器所八幡社の北東に秀吉の母である大政所の産まれた屋敷跡として碑と小社がある。地元の語り伝えによると「御所屋敷跡は秀吉の母の在所であり母が都で身ごもり在所に帰り秀吉を出産し、秀吉を連れ中村の農家（弥助）に嫁入りした」とされている。「尾張国愛知郡史」にも同様の記載があり、当地が秀吉誕生地とした。

通説の中村誕生説は「甫庵太閤記」で有名になったことによるものだが、秀吉没後 28 年経過してからの作品であり、根拠としては如何かと思われる。地元として御器所誕生説に肩入れしたい。

以上

愛・地球博 EXPOドーム ステージに立って

白ゆり会 中西 温子 (17期 福祉)

平成17年8月14日、愛・地球博名古屋市ウイークイベント、虹色シンフォニー最終日に万博長久手会場 EXPOドームのステージに立ちました。

鯨城学園17期の仲間『いいな地域の会』『鯨踊会』『白ゆり会』のメンバーで学園卒業後各々にボランティア活動が続けてきたグループです。

『いいな地域の会』は富山県五箇山地方の民謡“こきりこ”を唄、囃子、踊りで又山梨県民謡“武田節”を全員で熱唱、『鯨踊会』は賑やかに“花笠音頭”を踊り、『白ゆり会』は愛・地球博のテーマソング“ココロツタエ”を手話コーラスでと各々グループの持ち味を活かした演目を舞台一杯に熱演し、それを手拍子や合いの手コーラス、ハミング、手話とお互いにコラボレーションして盛り上げました。

学園からは副学長の田中實先生と木下光生先生が暑い中わざわざ会場までおいで下さり、また多数の鯨城OBの皆さんが応援にかけ付けて下さるなど、感激の極みでした。

熱く見守って頂く中、同じ17期の仲間である内藤敏子さんの明快な司会のもと、持ち時間の20分を完全燃焼いたしました。感謝の他ありません。

鯨城学園に入学出来たことで、人との輪が広がり活動の場が広がりました。

こんな素晴らしい機会を与えられたこと、仲間が集い一つの目標に向かって力を出し合い、積み重ねた充実感と成し遂げた喜びを、生涯一度の万博イベントのステージに立った思い出とともに深く心にとどめたいと思います。

そして、これからのボランティア活動への新たな一步の導としたいと思います。有難うございました。



